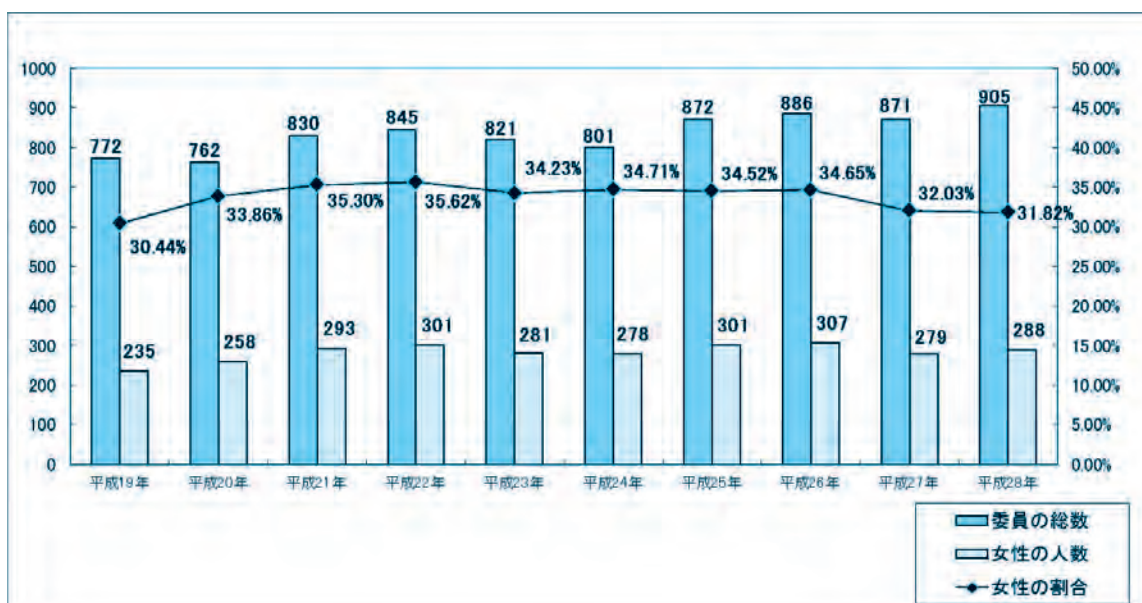


主要施策 1 政策・方針決定過程での男女共同参画の推進

【現状と課題】

- ・鳥栖市における審議会等への女性の参画率は、平成28年度末で31.82%です。
- ・市では平成15年度から女性人材リスト登録を開始し、これまで審議会等における女性の人材活用を行ってきましたが、同リストの登録者数や活用は伸びていないのが現状です。
- ・審議会等の委員は、同じ人が兼務している場合があります。
- ・審議会等への委員推薦を依頼する構成団体内に女性が少ない状況です。
- ・政策・方針決定の場に意欲的に参画する女性人材の育成と活用が必要です。
- ・国は「男女共同参画の視点からの防災・復興の取組指針」を作成し、男女のニーズの違い等に配慮した避難所運営、被災者支援を求めています。防災・復興に係る意思決定の場への女性の参画は少ない状況です。
- ・災害に強い地域社会の構築に向けて、男女共同参画の視点から必要な対策に取り組んでいけるよう、防災分野への女性の参画が必要です。

審議会等への女性の参画状況の推移



資料：市民協働推進課調べ

〔施策の方向性〕

- ①市における審議会等の委員改選の際には事前協議を行い、女性の参画を促進します。
- ②様々な分野で女性の参画が増えるように、情報の提供や啓発に取り組みます。
- ③防災分野における男女共同参画の推進を図ります。

具体的施策	施策の内容	担当課
14 市の審議会等への女性の参画促進	市の審議会等への女性の参画促進に努めます。 ●審議会等への女性参画推進 ●審議会等への女性参画促進のための指針等の周知 ●審議会等の委員の改選期等における女性参画についての事前協議 ●審議会等への女性参画状況調査及び公表	関係各課 総務課 市民協働推進課
15 防災分野における男女共同参画の推進	災害時には男女によって直面する課題や問題点が異なるため、男女共同参画の視点に基づいた地域防災への取組の推進を図ります。 ●男女共同参画の視点を取り入れた防災計画・マニュアル等の整備 ●男女共同参画の視点を取り入れた防災訓練の実施	総務課

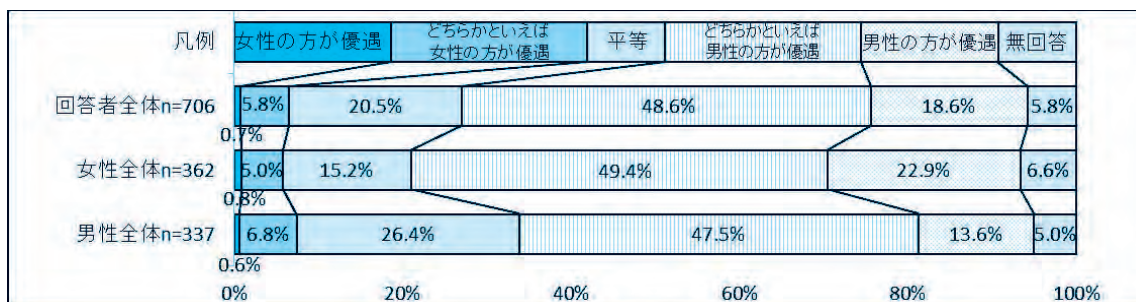


主要施策 2 男女が働きやすい労働環境の整備

【現状と課題】

- ・ 職場において男女平等と感じている割合は、女性全体では15.2%と低く、「どちらかといえば男性優遇」「男性優遇」と感じている割合は、女性全体で72.3%と高く、このうち女性の30～60歳代が特に高くなっています。
- ・ 育児休業を取得する男性は以前と比較すると増えていますが、依然として少ない状況です。
- ・ 育児休業を取得することについての考え方をみると、「男性も女性も取得して欲しい」の54.2%が最も高くなっています。これに続き「女性は取得したほうがよいが、男性が取得することには違和感がある」の29.0%が続いており、そのうち「男性」の『30～60歳代』が特に高くなっています。
- ・ 個人の意思を尊重した働き方ができる職場環境をつくる必要があります。

職場での男女平等感



資料：平成28年度市民意識調査結果から作成

〔施策の方向性〕

- ① 育児休業や介護休業等の制度を周知します。
- ② 働きやすい職場づくりに関する広報・啓発を行います。
- ③ 働きやすい労働環境の先進事例を紹介し、事業所等に奨励します。

具体的施策	施策の内容	担当課
16 仕事と生活の調和 (ワーク・ライフ・ バランス)の推進	結婚・育児・介護等で仕事を失わないように、男女がともに仕事と家庭を担いあい、仕事や家庭、地域において調和のとれた活動ができる考え方について事業所や経営者への啓発に努めます。 ●市内企業等への啓発や意見交換 ●労働に関する法制度やワーク・ライフ・バランスの啓発 ●仕事と家庭等のバランスに配慮する事業所の事例紹介	商工振興課 市民協働推進課